

# ウナギの種苗生産技術の開発

【152（188）百万円】

## 対策のポイント

種苗の安定確保が困難なウナギの種苗生産技術を開発します。特に、ヨーロッパウナギの国際的な取引規制（ワシントン条約）により、中国からのウナギの供給量減少が避けられないことから、シラスウナギの安定生産・量産化技術の開発を強化します。

（ウナギについて）

我が国のウナギ生産量の97%が養殖によりますが、その種苗であるシラスウナギは100%を天然に依存しています。

## 政策目標

水産資源の安定供給、国内養殖産業の振興に貢献するため、シラスウナギの安定生産・量産化技術の開発

## <内容>

### 1. 良質卵の安定大量生産技術の開発

天然ウナギ親魚の生育環境・餌料を解明し、人工生産による優良親魚からの良質卵安定供給システムの開発をします。

### 2. 量産のための飼育システムの開発

量産化に適したウナギ幼生の新規飼餌料、環境等飼育システムの開発をします。

## <実施主体等>

実施主体 民間団体等  
実施期間 平成17年度～平成23年度

[担当課：農林水産技術会議事務局研究開発官（環境）（03-6744-2216（直））]